

旧石器時代の次は、今から1万年前まで…

■氷河時代にも日本人はいました…

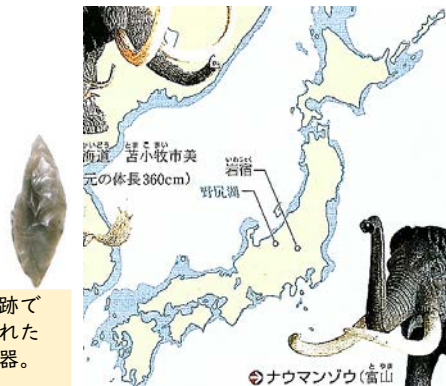
今から1万年前まで続いた〔1★ヒ 〕時代には、日本は大陸と陸続きでした。そこに、ナウマンゾウやオオツノジカ、〔2★マ 〕を追って、日本列島に人間がやってきました。

彼らは、打製石器を使い、狩りや採集をして暮らしていました。

■旧石器時代を表す遺跡…

この時代の様子は、1949年に、群馬県の〔3★イ 〕遺跡から、この打製石器が発見されたことで、日本にも旧石器時代があったことが確認されました。

ちなみに彼らは、岩かげや、草ぶきの小屋に住み、〔4★ヒ 〕も扱えました。



3の遺跡で発見された打製石器。



250万年前（最も古い人類である猿人が活躍）から始まった氷河時代、猿人が打製石器を作り、狩りをしていた。

200万年前（原人が活躍）には、火や言葉を使うようになった。

20万年前（現在の人類の直接の祖先である新人が活躍）には、狩りや採集が行われていた。

1万年前、氷河時代が終わると磨製石器が作られるようになった。よって…

この「猿人」「原人」「新人」は、今から250万年前～1万年前までの氷河時代、打製石器を作り、使っていたことになるので、この時代を、旧石器時代と言う。（250万年前～1万年前）

日本にも、人はいて、氷河時代が終わることで、海水面が上昇して、今の日本になった。つまり、今の日本列島の形の誕生は1万年前までころである。

それまで（250万年前～1万年前）は、大陸と日本は、陸続きだった。そのころ日本列島に住む人々は、木の実を煮るために、土器を作って、打製石器で狩りをしていた。

打製石器を使っていたので、旧石器時代があったと分かる。

1万2000年前から、縄目土器を作っていたことから、このあたりからは縄文時代と呼ぶ。

700万年前	250万年前	1万年前
人類誕生	氷河時代	氷溶ける。
世界	旧石器時代→→→	
日本	旧石器時代→→→	
日本		縄文時代→

解答欄

1. -----
2. -----
3. -----
4. -----

答え

1. 氷河
2. マンモス
3. 岩宿
4. 火

氷河時代の後半は、縄文時代（今から1万2000年前～紀元前4世紀ころ）

■縄文時代スタート(氷河時代の後半～紀元前後まで)…

ぎりぎり氷河期の1万2000年前から、

日本人は、土器を作りはじめました。

黒っぽい色で、厚くてもろく、表面に縄目のような文様がつけられていたので、[1★ジ] 土器と呼ばれています。

ちなみにこのころの「世界」は、新石器時代で、磨製石器を作っていたころです。

日本の1万2000年前…縄文土器スタート（日本 最古レベルの土器）

日本の1万年前…磨製石器（世界のようす）

■縄文時代の始まりは、時代の後半(縄文時代スタート)…

氷河期の後半のこのときの文化を [2★ジ] 文化、

この時代を [3★ジ] 時代と呼びます。

ちなみに、紀元前後に弥生時代となります。

※1万年前に氷河期が終わり、海水面が上昇したことで、

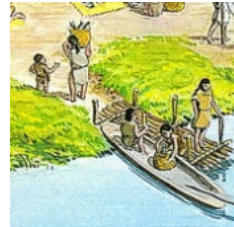
今のような [4★] 列島ができました。



縄文時代の村



厚手で、低温で焼かれたため、黒褐色をしていた土器である。



縄文時代の村。

縄文時代は、今から1万2000年前ころに始まったと考えられる。つまり、氷河時代に後半となる。そして1万年前に、氷河時代が終わって、海面が上昇。結果、海や川ができたことで、海産物が豊富に採れるようになった。

よって、生活はお魚や貝、木の実、しか、鳥を採っての生活だった。

つまり、農耕や牧畜、お米は、まったく広がっていなかった。

解答欄

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____

答え

1. 縄文
2. 縄文
3. 縄文
4. 日本

縄文時代（今から1万2000年前～紀元前4世紀ころ）

■海面が上昇してきたおかげで…

縄文時代は、氷河期の終わりころだったため、海面が上昇したころでした。

これにより木の実、魚、貝が豊富に採れました。このためまだ、[1] 作や牧畜は発達しませんでした。

人々は、大陸からやってきたやつらの恐ろしさから避けるため、[2★夕] 住居に住みました。そして豊富な魚や貝をたくさん食べたため、食べ物の残りを捨てた [3★カ] ができました。

■縄文時代の様子を表す遺跡…

この縄文時代の村の様子は、青森県の [4★サ] 遺跡から分かります。

この遺跡から人々は、自然と深く関わって生活しており、豊かなめぐみが今後も続くことを願って、[5★ド] という土の人形を作っていたことが分かりました。



青森県の、三内丸山遺跡。たて穴住居。

縄文時代の代表的な建造物である。

縄文時代とは、氷河時代の末期の、1万2000年前～紀元前0年ころだと言われている。



土偶（どぐう）
魔除けや食物の豊かさを祈るのに使われた。

縄文時代を、1万2000年前～紀元前後ちょうどまで。と考えて…

縄文時代の人々は、氷河時代が終わって魚が豊富なので、移住の必要がなかった。

時間があつたので（ひまなので）、雨が入って来ないように「たて穴住居」を作った。

雨の恵みを祈るために、祈りのグッズ土偶を作った。

ちなみに土偶は、電気のない時代の魔除けの役割（夜は暗くて怖いから）も、になっていた。

解答欄

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

答え

1. 稲
2. たて穴
3. 貝塚
4. 三内丸山
5. 土偶

縄文時代・弥生時代（紀元前後は混在時代）

■朝鮮半島の人々が、北九州に…

縄文時代の後半である紀元前 [1★] 世紀ころ、朝鮮半島から移り住んだ人々によって、 [2★イ] が、九州北部に伝えられました。

そして弥生時代に、日本中に広がりました。

これにより水田がたくさん作られ、人々はその近くに住みました。

できた米を蓄え、ねずみをやっつける [3★タ] を作りました。

■弥生時代の様子を表す遺跡…

弥生時代の遺跡は、静岡県の登呂遺跡と、佐賀県の [4★ヨ] 遺跡が有名です。



佐賀県の吉野ヶ里遺跡で発見された、首のない遺骨。争いによって亡くなった戦士の骨。

これらの遺跡により、稲作とともに

[5 セ] 器（祭り用）、[6 テ] 器（工具用）などの金属器が伝わってきたことが分かります。

青銅器のうち、銅剣、[7 銅]、[8 銅]、銅鏡は、祭りの **宝物** として使われていたことが分かりました。



銅4兄弟のうちの3人組

■弥生時代の土器と言えば…

このころの土器は、赤かっ色のうすくてかたいものでした。この土器を、[9★ヤ] 土器といいます。

※**紀元前4世紀～紀元後3世紀**を弥生時代という。



弥生時代の土器たち（弥生土器）。高温で焼かれたため、赤褐色で薄くて固め。

弥生時代。
紀元前0年ころ
～紀元後300年ころ。
弥生時代の村：稲穂を刈り取っている様子。



紀元前4世紀ころ、朝鮮半島から移り住んで来た人々から、稲作が九州北部に伝わった。
稲作と共に、金属器（青銅器、鉄器）が伝わった。青銅器は銅なので…銅剣、銅矛、銅鏡、銅鐸のこと。これらは、祭の宝物として使用した。鉄器は、武器のほか、農具や船を作る道具として使われた。



ネズミ返しがついた倉庫。

解答欄

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____
6. _____
7. _____
8. _____
9. _____

答え

1. 4
2. 稲作
3. 高床倉庫
4. 吉野ヶ里
5. 青銅
6. 鉄
7. 矛
8. 鐸
9. 弥生

弥生時代（紀元前4世紀～紀元後3世紀ころ）

■稲作が広まったことで…

紀元前4世紀ころから発達した稲作によって、定住生活が増え、結果、貧富の差が生まれ、有力者である〔1★ゴ 〕族が出てきました。

■中国は大国だから…

弥生時代の後半である、1世紀の半ばに、福岡出身である、倭の〔2 ナ 〕の王が、後漢に使いを送り、皇帝の〔3★コ 〕帝から〔4★キ 〕をもらいました。

■金印は、ここで発見された…

そのときの金印は、福岡県の〔5★シ 〕島で発見されました。ここには、〔6★カ 〕国王と刻まれていました。



『漢書』地理志（部分要約）

（紀元前1世紀ころ）楽浪郡の海のかなたに倭人がいて、100以上の国を造っており、なかには定期的に漢に朝貢する国もある。

紀元前1世紀ころの、中国の漢の歴史書によると、倭には、100余りの国があったとの記載がある。

紀元前1世紀とは、「縄文時代と弥生時代のミックス」時期。

『後漢書』東夷伝（部分要約）

建武中元2(57)年に倭の奴国が後漢に朝貢したので、光武帝は印綬(印とそれを結びとめるひも)をおくった。…桓帝と靈帝のころ(2世紀)、倭は大いに乱れ、長い間代表者が定まらなかった。

紀元後すぐのこと。

福岡平野にあった倭の奴国王が、後漢の皇帝から、金印を受けられたとの記載が。

この金印は、江戸時代、福岡県の志賀島で発見されたもので、「漢委奴国王」と刻まれていた。この金印は、以下。



福岡県の志賀島で発見された金印。漢委奴国王とある。



中国各地の、王から頂いた金印と銅印たち。

解答欄

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____
6. _____

答え

1. 豪
2. 奴国
3. 光武
4. 金印
5. 志賀
- しかのしま
6. 漢委奴
- かんのわのなの

弥生時代（紀元前4世紀～紀元後3世紀ころ）

■3世紀に、女王が三国時代の中国に…

紀元後の3世紀になると、中国では後漢が220年に滅び三国時代となり、魏・呉・蜀の三国が争っていました。

このころの日本は[1★ヤ]という国があり、弥生時代の後半の[239年]、女王の[2★ヒ]が、

三国の一つの魏に使いを送り、[3★シ]王の称号と金印、銅鏡100枚を与えられました。

■中国歴史書に、女王のことが記載…

このことは、中国の歴史書[4★ギ]伝にのっています。

■魏・呉・蜀の次は…

三国時代のあと、[5★シ]が中国を統一しました。

しかし[4世紀]になって、北方の匈奴きょうどという民族が、万里の長城を攻略して侵入してきたので、南に逃げました。

結果、中国北部が空いたため、

ひっそりと生き残っていた16の漢民族たちが

ここを占領しました。これ以降、五胡十六国時代となります。

※晋はその後、中国の東部で生き残りました。

※魏もその後、中国の北部で生き残りました。



後漢滅亡の220年から、晋が統一した280年までを、三国時代と言う。

紀元前1000年殷から周となり、紀元前770年は春秋戦国時代。

紀元前221年に秦、紀元前202年に前漢、

紀元が明けて、23年にできた後漢が、220まで続いた。

そして、220からは魏呉蜀の三国が争っていた。↑今ここ。

魏志倭人伝 (部分要約)

…南に進むと邪馬台国に着く。ここは女王が都を置いている所である。…倭にはもともと男の王がいたが、その後国内が乱れたので一人の女子を王とした。名を卑弥呼といい、成人しているが夫はおらず、一人の弟が国政を補佐している。…卑弥呼が死んだとき、直径が100歩余りもある大きな墓を造った。

卑弥呼は、三国の一つ、魏とつながっていた。

220年に後漢が滅び、三国時代となった。そのころの日本は、弥生時代で、邪馬台国だった。

そしてボスは卑弥呼。魏から「親魏倭王」と呼ばれていた。

解答欄

- 1. -----
2. -----
3. -----
4. -----
5. -----

答え

- 1. 邪馬台国
2. 卑弥呼
3. 親魏倭
4. 魏志倭人
5. 晋